

いいね！イネ愛 全国で花ひらけ

昨日、フラワーアレンジメント競技会に出場するために準備を進めている生徒が、3 回目の試作品を校長室に飾ってくれました。今回のものはこれまでとは違った趣がありました。周りをイネの茎で囲んでいるのは出雲地方の築地松をイメージしたそうです。その築地松の中にたくさんの花がびっしりとあるのは、実りの秋に家族や親戚中揃ってパーティーでも開いているのでしょうか、団らんや暖かさがイメージでき、じっと眺めていると楽しそうな声が聞こえてきそうな気がします。

今回のコンテストでは観賞用イネとして『祝い茜（いわいあかね）』という品種が用いられます。これは東北農業研究センターが育成した観賞用イネだそうで、鮮やかな朱に色づいた穂がきれいな品種のようです。穂の赤いイネが手に入らないので、参加する生徒がご近所の方から黒米を分けてもらって今回の試作品ができたようです。祝い茜を使うと右の写真のような感じになるのでしょうか。作品の横に「イネ愛♡」と付箋が貼ってあったので、イネを愛する思いから制作した作品ということがうかがえます。

今月は先に紹介した全国産業教育フェア秋田大会のほか、日本学校農業クラブ全国大会岡山大会も開催され、大きな大会に本校からも下記の生徒たちが参加します。

【農業鑑定競技会】

農業部門 生物生産科 2 年 枝木 虹太さん
園芸部門 生物生産科 2 年 小笹那々子さん
農業土木部門 環境土木科 3 年 佐藤 佑哉さん
造園部門 環境土木科 3 年 藤原 百香さん
食品部門 総合学科 2 年 別所奈津実さん

【クラブ員代表者会議】 生物生産科 3 年 長谷川みゆさん（農業クラブ会長）

この日本学校農業クラブ全国大会では、農業に関する研究発表・意見発表、意見交換、技術競技会などが実施され、参加する生徒の知識・技術の向上につなげようとするものです。また、活動の成果が、新しい農業技術の進展や地域環境の保全への貢献、地域活性化の契機となるなど、活動は各地で注目されその成果に期待が寄せられています。

農業鑑定競技会は、日頃の学習で得た農業に関する知識・技術の成果を、鑑定・判定・診断・審査技術にわたりその実力を競います。出題数は 40 問で、農業生物、種子、肥料、農業機械、・・・等々を 20 秒または 40 秒というわずかな時間で鑑定・判定し、その正答率を競います。

クラブ員代表者会議は全国の単位クラブ（学校）の代表者が参加して行われる会議です。農業クラブ活動の事例をもとにした情報交換と日本学校農業クラブ連盟に関する意見交換を行います。会議への参加や意見交換をとおしてクラブ員の資質向上と農業クラブ活動の発展を目指します。

（第 68 回日本学校農業クラブ全国大会 FFJ 岡山大会ホームページ大会内容より引用）

全国産業教育フェア秋田大会、日本学校農業クラブ全国大会岡山大会に出場する生徒は、それぞれの大会での入賞、ひょっとして優勝を目指して現在日々努力をしているところです。全国大会で入賞するという事はかなりハードルが高いのですが、最後まであきらめず地道な努力をこれからも重ねていき、全国大会で花開くことを祈っています。



試作品第 3 号



イメージ

